

2025年度大学院入試（修士課程） Ⅱ期（11／16）

専攻科目・外国語科目試験問題

口腔保健学専攻

（120分）

<注意>

1. 試験開始の合図があるまでこの冊子は開いてはいけません。
2. この冊子は6ページあります。ページの脱落や解答用紙の汚れがあった場合には、監督者に申し出てください。

2025年度大学院入試（修士課程）Ⅱ期（11/16）専攻科目・外国語科目試験問題

口腔保健学専攻 外国語科目名 英語 120分

受験番号	
氏 名	

専攻科目 口腔保健学

次の設問に解答せよ。（解答は解答用紙に記述すること）

設問Ⅰ 次の項目について、それぞれ100字程度で説明しなさい。

1. 歯磨剤の薬用成分
2. う蝕の発生要因と予防法
3. ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ
4. 口腔機能低下症
5. 歯科における医療安全管理

設問Ⅱ 口腔と全身疾患との関係について、以下に挙げた3つのキーワードを用いて400字程度で説明しなさい。

キーワード：口腔細菌、歯周病、咀嚼機能

口腔保健学専攻 外国語科目名 英語 120分 解答用紙

受験番号	
氏 名	

設問 I - 1

[illegible]

設問 I - 2

[illegible]

設問 I - 3

[illegible]

口腔保健学専攻 外国語科目名 英語 120分 解答用紙

受験番号	
氏 名	

設問 I - 4

[illegible]

設問 I - 5

[illegible]

口腔保健学専攻 外国語科目名 英語 120分 解答用紙

受験番号	
氏 名	

[illegible]

2025年度大学院入試（修士課程）Ⅱ期（11/16）専攻科目・外国語科目試験問題

口腔保健学専攻 外国語科目名 英語 120分

受験番号	
氏 名	

外国語科目 英語

次の英文の日本語訳を記述せよ。（解答は解答用紙に記述すること）

The recent global health problem, COVID-19, has had far-reaching impacts on lifestyles. Although many effective WHO-approved vaccines have been produced that have reduced the spread and severity of the disease, it appears to persist in humans for a long time and possibly forever as everyday it turns out to have new mutations. COVID-19 involves the lungs and other organs primarily through cytokine storms, which have been implicated in many other inflammatory disorders, including periodontal diseases. COVID-19 is in a close association with dental and periodontal practice from two respects: first, repeated mandatory lockdowns have reduced patient referrals to dentists and limited the dental and periodontal procedures to emergency treatments, whereas it is important to recognize the oral manifestations of COVID-19 as well as the influence of oral and periodontal disease on the severity of COVID-19. Second, dentistry is one of the high-risk professions in terms of close contact with unmasked individuals, necessitating redefining the principles of infection control. The pressures of the economic recession on patients as well as dentists add to the difficulty of resuming elective dental services.

(Darestani MN, Akbari A, Yaghobee S, Taheri M, Akbari S. COVID-19 Pandemic and Periodontal Practice: The Immunological, Clinical, and Economic Points of View. Biomed Res Int. 2022 Jan 13;2022:3918980. 抄録を改変)

（注）： far-reaching 広範囲に及ぶ、 cytokine storm サイトカインストーム（免疫の過剰反応による炎症）、 inflammatory disorders 炎症性疾患

2025年度大学院入試（修士課程）Ⅱ期（11/16）専攻科目・外国語科目試験問題

口腔保健学専攻 外国語科目名 英語 120分 解答用紙

受験番号	
氏 名	

外国語科目 英語

選考名	大学院入試（修士課程）Ⅱ期
専攻名	口腔保健学専攻

出題の意図

大学院入試の筆記試験は、専攻科目（口腔保健学）および外国語科目（英語）で構成する。本専攻修士課程のアドミッションポリシーに基づき、口腔保健学の学修・研究に必要な基礎学力を有しているかを評価することを目的として出題する。

専攻科目では、口腔保健学に関する基本的な知識を正確に理解し、内容を明確に説明する力、ならびに口腔と全身疾患との関係について、現状や背景を適切に捉え、根拠に基づいて自らの考えを論理的に述べる力を総合的に評価する。

外国語科目では、COVID-19 と歯周治療に関する英語論文を題材に、専門用語や因果・対比構造（first/second, whereas）を含む複雑な英文を正確に理解し、自然な日本語に訳出できる語学力を評価する。

解答のポイント

<専攻科目>

設問Ⅰ：各用語の定義を正確に示し、その目的、特徴、口腔保健における意義等を適切に説明していること。単なる用語の列挙ではなく、各項目の重要な事項を簡潔かつ正確に記述できていること。

設問Ⅱ：口腔細菌、歯周病、咀嚼機能と全身疾患との関連について、それぞれの関係性を正しく理解していること。口腔細菌や歯周病による炎症等が全身の健康に及ぼす影響、ならびに咀嚼機能の低下と栄養状態や全身の健康との関連を示し、口腔の健康を維持する意義について論理的に考察していること。

<外国語科目>

サイトカインストームによる炎症機序、受診控えと重症度への影響という対比、感染リスクの高さ、経済的圧力による診療再開の困難さを、専門用語を正しく訳し分け自然な日本語で表現できていること。